

小1プロブレム解消のための指導方法等の工夫について

山口市立良城小学校

学習環境・指導体制の整備

子どもの実態や変化に対応し、学びを豊かにする学習環境・指導体制を整える。

学習習慣や生活習慣の定着



養護教諭による一斉指導の中で、生活のきまりを全員で共通理解します。

意見があれば、分かるようにまっすぐ手を挙げて伝える約束が習慣化しています。



成果

学年共通のスタートアップカリキュラムをもとに、1年生一人ひとりが学校生活に慣れ、学習習慣を身に付けることができた。

養護教諭や栄養教諭等による全体指導の際にも、1学年の担任が連携し、きめ細かな個別支援によって、行き届いた指導ができた。

様々な交流による学びの充実

地域の老人クラブの方々に、昔からの遊びを教えもらい、体験を深めます。



6年生とのミニ集会で、譲り合ったり、一緒に楽しんだりする関わりを学びます。

保護者による読み聞かせは、落ち着いて聞く力を育てます。



成果

6年生や保護者、地域の大人など、異年齢での交流体験を通して、人との関わり方を覚えたり、集団での行動のあり方を学んだりすることができた。

たくさんの方々に優しく接してもらった体験により、次年度以降の1年生に優しく接する基盤を作ることができた。